技術士第二次試験受験申込書

文部科学大臣指定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 殿

下記り	こより、	技術	5士第二次試験を	受験し	たいので、	申し	し込みます。					年	Ē	月	日
(フ	リガラ	⊦)						٠ ا	受 專) 地					
氏		名					(男口・女口		技術	部門					
生	年 月	日		年	月	Ħ	生								
本	籍	地					都道府県コード]	選択	科目					
現	現住所		〒]	専門とす	トる事項					
	ш.	"					総合技術監理部門申し込む者で、右	のいずれ 心の収削		部門	羽門と併願				
		-					1	かに該当 付すこと	当する者に	は□に√を	選択科目	が免	除		
都道原		\neg									学校名				
]_	⊐-ド <u> </u>		電話番号				最終学月		学 歴						
勤	務	先	勤務 先名												
====	424		 支店・部課名等						最終学歴		学部学科名	3			
		_,							取終子歴 コード						
	务先 - ド		電話番号						卒業(修	了)年月		年		月	
下記(の該当っ	する□]に√を付し、必	要事項を	記入する	らこと									
	技術	士第-	一次試験合格証番	:号及び1	合格年月		第		-			年		月	
	技術	士補登	経録番号及び登録	年月日			第		+			年		月	日
	技術士法第三十一条の二第二項の規定により文部科学大臣が指定した大学その他の教育機関における課程及び当該課程の修了年月														
	学校名	,				ı	課程								
	学校 コード					1 "	課程							年	月
総合打	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー														
		技術士第二次試験合格証番号又は技術士登録番号					合格年月又は登録年月日			合格した技術部門					
技術	5士第二	二次試	験合格証番号又	は技術士	=登録番号	}	台格年月	又は登	録年月	Ħ	1	合格した1	支術音	肾門	
技術	5士第二 合格記			は技術士	□登録番号 号	}	合格年月》	年	録年月 月	Ħ	1	合格した]	支術音	B P 9	

技術士第二次試験合格証番号又は技術士登録番号				合格年月又は登録年月日			合格した技術部門
	合格証番号	第	号	年	月		
	登録番号	第	号	年	月	日	

	整理番号		
 	技術士法第	六条第二項第一号	
	技術士法第:	六条第二項第二号	
	技術士法第	六条第二項第三号	

備考1 ※印欄には、記入しないこと。

- 2 氏名の欄中()内は、該当する口に√を付すこと。
- 3 指定試験機関に申し込む場合には、所定の手続により 受験手数料を納付し、払込受付証明書をはること。
- 4 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

年 月 日撮影

写真貼付欄

第二次試験の申込前6 箇月以内に半身脱帽で 撮つた縦 4.5 センチメ ートル、横3.5センチ メートルの写真で本人 と確認できるものをは ること。

受験手数料払込受付証明書貼付欄

実務経験証明書 (監督者の下)

大学院における研究経歴/勤務先における業務経歴

	大学院名	課程(専攻まで)		研究内容	①在学期間				
) (1 000	かい丁 (4.2	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	417ul 37u	年・月~年・月	年月数			
詳細	勤務先	所在地	地位・	業務内容	②一次合格後の従				
ртич	(部課まで)	(市区町村まで)	職名	*40/134	年・月~年・月	年月数			
※業務経歴の中から、下記「業務内容の詳細」に記入するもの1つを選び、「詳細」欄に〇を付して下さい。 合計 (①+②)									
上記のとおり相違ないことを証明する。 年 月 日									
事務所名									
詰	証明者役職								
詎	E明者氏名			印					

業務内容の詳細

当該業務での立場、役割、成果等

郵送前にご確認ください 申込前確認チェックシート

注)事実と異なる記載がないよう必ず確認してください。

技術士第二次試験受験申込書	① 受験に必要な項目は正しく記入されていますか。
12 例 上 分 一 (八 氏 歌 文 歌 中) で 音 文部科学大臣相定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 聚 下記により、技術士第二次試験を受験したいので、申し込みます。	□ 受験地
「(フリガナ) 受験地 氏名 (易ロ・女口)	□ 技術部門
生年月日 年 月 日生 技術部門	□ 選択科目 (一部を除き、改正されています。)
本籍地 電流用電 選択科目	□ 専門とする事項 (一部を除き、改正されています。)
現 住 所 解刊とする事項 解刊とする事項 解刊とする事項 解析を技術電影展所の必要を 他の技術部門と供願 口 かいほとかせて、カルンは苦・カル・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は苦・カー・は 選択科目が免除 口	② いずれかを正しく記入し、□に√されていますか。
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
勤務先	│
第86年 第86年 本業体T)年月 年 月	/ または
下記の該当する口に/を付し、必要事項を記入すること。	□ 文部科学大臣指定の大学その他教育機関を修了
□ 技術士補登録番号及び登録年月日 号 年 月 日 技術士補登録番号及び登録年月日 号 中 月 日 技術士法第三十一条の二第二項の規定により文部科学大臣が第三した大学その他の教育機関における開税及び当該開税の修丁年月	◎ 幼女开作医广西如阳亚胺末 = ★ソナフナル
学校名 年 月	③ 総合技術監理部門受験で、該当する方は、
総合技術監理部門の選択科目の免除を受ける場合には、下配の該当する口のいずれかにくを付し、必要事項を犯入すること。	□免除または併願に√されていますか。
放析士第二次改雜合格証番号又往技術士型総番号 合格年月又往登録年月日 合格した技術部門	選択科目免除を受ける方は、以下のいずれかに
1 2 x x y y y y y y y y	✓ および記入されていますか。
整理番号	□ 第二次試験合格証番号及び合格年月日
技術士能第六条第二項第二号 技術士能第六条第二項第三号	□ 技術士登録番号及び登録年月日
** 当市圏には、並入しないこと。 ネットバンク利用時は、 2 兆名の間が()がは、脚面する口にでを付てこと。 3 恵宮が機関でも込む後されば、炭泥の手続により 以下が確認できる事	④ 受験手数料の振込みは完了していますか。
乗業事業等を終行し、私込受が起明者をはること。 4 用版の大きさは、日本工業服等 A とする。	
写真貼付欄 第二次試表の表达前6 3払込先口座番号	□ 受領証等の原本を貼付、または同封
#月以内に半身規権で 機つた縦4.5センチメ ④金額	□ 振込先口座に間違いはありませんか。
メートルの写真で本人 と確認できるものをは	受験手数料(14,000円)です。
822.	●大学院の経歴を含める方のみ記入
	※年月数の上限は2年/海外の大学院は対象外です。
	⑤-1 技術士補となる資格を有した日(第一次試験合
※整理番号	又は指定された教育課程修了) <u>以降</u> の業務経歴が
実務経験証明書(監督者の下)	4年を超える期間、記入されていますか。
学院における研究経歴/勤務先における業務経歴 大学院名 機程(専攻まで) 研究内容 サーリー・ローリー・ローリー・ロール	
平・月~年・月 年月歌	□ 総合技術監理部門を除く技術部門を受験 ··· 4 年超
動務先 所在地 地位・ 業務内容 年・月・年・月 年月数	□ 総合技術監理部門を受験 ··· 7 年超
	⑤-2 業務経歴の各行の従事期間の年月数は正しく記
	されていますか。
(5)	□ 従事期間の「年・月~年・月 及び「年月数
	⑥ 証明欄には記入捺印(監督者私印)がされていますか
	証明を省略する場合は、次のいずれかの添付書類が必要です
現務所の中から、下記「業務内容の詳細」に記入するもの1つを選び、「詳細」欄にOを付して下さい。	
事務所名 (6)	□ □ 技術士登録証明書(原本)
新四十年	□ 技術士登録証(コピー)
当該業務での立場、役割、成果等	過去の第二次試験受験票(原本)
	□ 技術士第二次試験合格証(コピー)
	※過去に7年未満の業務経歴で受験・合格された方が
	初めて総合技術監理部門を受験する場合は省略不可
	⑦ 日付は全て西暦で記入されていますか。
	⑧ 提出書類に漏れがないか、ご確認ください。
	受験申込み案内「受験申込み時に提出する書類」参照
I I	

このチェックシートは、提出の必要はありません。

※新規の場合、監督者要件証明書・監督内容証明書も必要です。